

2025年4月28日

各位

会社名 株式会社オリエンタルランド
代表者名 代表取締役社長 高橋 渉
(コード：4661、東証プライム市場)
問合せ先 広報部長 横井 香織
(TEL. 047-305-5111)

オリエンタルランドグループ「2035 長期経営戦略」について

オリエンタルランドグループ（以下、OLC グループ）は、この度、2035年に目指す姿として「あなたと社会に、もっとハピネスを。」を掲げ、その実現に向けた2035年度までの長期経営戦略を策定し、2025年4月28日開催の取締役会にて決議しましたので、お知らせいたします。

I. OLC グループ長期経営戦略策定の背景と目的

OLC グループは、2030年に目指す姿として「あなたと社会に、もっとハピネスを。」を掲げ、持続可能な社会への貢献と長期持続的な成長に向け、OLC グループの提供価値である「ハピネス」を持続的に創造していくことを目指し取り組んでいます。

このたび、将来に向けた取り組みをより強化するために、従来からの目指す姿を再定義し、改めて2035年に目指す姿を策定しました。

- ・あらゆる人々が共に喜び、笑い、感動できる空間と時間を通じて、明日への活力を生む楽しさを提供する
- ・私たちを生かしてくれている世界そのものを慈しみ、持続可能な社会作りに貢献する
- ・従業員が心から誇れる企業であり続ける

上記の考えに基づき、私たちをとりまく社会や自然環境を慈しみ、あらゆる人々が喜びや感動を共有できる空間や時間を提供し、ひとりでも多くの人々に明日への活力を生む楽しさを創り出すことを目指します。そして、OLC グループの価値を向上させることで広く社会から信頼を得て、従業員が心から誇れる企業であり続けられるよう邁進します。

この目指す姿を実現すべく、2035年までの期間に、各事業の成長戦略と OLC グループ独自の活動を推進します。主力事業であるテーマパーク事業を中心に、既存事業の成長への注力に加え、新たにクルーズ事業を展開することにより、事業間の資源配分の重要度がより高まります。一方、少子高齢化による国内市場の縮小や人件費や建設工事費をはじめとした各費用の上昇などの課題への対応がより一層求められます。想定しうる内外環境の変化の対応に取り組みながらも、着実な成長を図るべく、長期的な視点で経営目標を定め、経営資源を効率よく配分して各事業の成長や発展を推進し、将来の OLC グループの持続的な発展に繋がります。結果として、2029年度時点で営業キャッシュ・フロー3,000億円レベル、2035年度時点で売上高1兆円以上を目指します。

II. OLC グループ長期経営戦略の概要

1. 事業の成長戦略

テーマパークにおけるエリア刷新などの大規模開発も視野に入れた検討や新規施設の導入、コンテンツの拡充などをはじめ、ホテル事業の発展により、より一層の魅力向上を図るとともに、従来の枠組みにとらわれない付加価値の創出に取り組みます。加えて、クルーズ事業においては、「ファミリーエンターテイメントクルーズ」という当社ならではのレジャーを実現することで新たな体験価値を提供いたします。

1) テーマパーク事業戦略

新規エンターテイメントの開発や既存アトラクションのリニューアルをはじめとした大小様々なコンテンツを導入することによってパークに変化感を醸成し、魅力的なパークを提供し続けます。さらに、東京ディズニーランド®および東京ディズニーシー®におけるエリア刷新などの大規模開発の検討も継続的に行い、新たな体験価値の創出を目指します。



テーマパークにおけるエリア刷新の構想イメージ

※写真はすべてイメージです ©Disney

また、ターゲットに焦点を当てたきめ細かいコミュニケーションや来園意欲を高めるための施策によってファン層を拡大するとともに、海外からのゲストも積極的に取り込み、盤石な集客基盤を構築して入園者数の向上を図ります。

加えて、既存サービスの更なる魅力向上やこれまでにない新たな手段やサービスを開発することにより、世の中の想像を超えるハピネスを創出します。

2) ホテル事業戦略

舞浜・新浦安エリアのホテルに対する需要は依然として高いことや、テーマパーク事業において今以上に海外からのゲストを積極的に取り込む方針であることを踏まえ、新規ディズニーホテルの開発も視野に入れ、検討を進めます。

3) クルーズ事業戦略

2028年度就航予定のクルーズ事業を軌道に乗せ、新たな事業として確立します。更に、2隻目のクルーズ船の就航も視野に入れ、OLC グループの更なる成長を図ります。

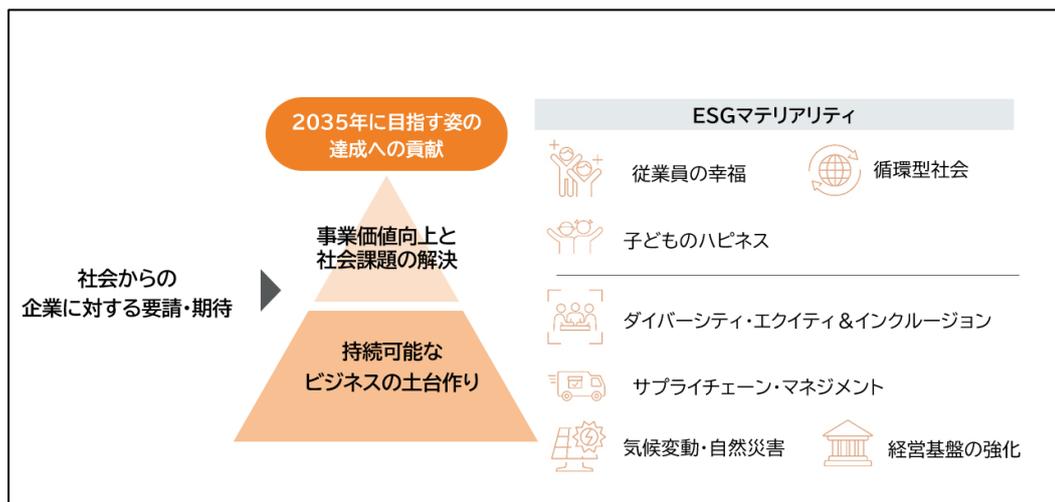
2. OLC グループ独自の活動

既存事業に加え、OLC グループ独自の活動として、ESG マテリアリティへの取り組みを推進するとともに、コーポレート・ベンチャー・キャピタルであるオリエンタルランド・イノベーションズの活動の拡大などを行います。

1) ESG マテリアリティへの取り組み

OLC グループが選定した ESG マテリアリティを更新し、それぞれの位置付けや目的に基づいた取り組みを推進します。各取り組みを行い、社会的価値を創出することで OLC グループの成長の一助とします。

これまで OLC グループならではのマテリアリティと位置付けていた「従業員の幸福」や「子どものハピネス」に加え、資源の効率的な循環を目指し、持続可能な社会づくりに貢献すべく、「循環型社会」の取り組みにも注力します。例えば、事業活動を通じて排出される廃棄物・水・CO2 を可能な限り低減させる「循環型リゾート」の取り組みや、ステークホルダーとの関わりや協業により資源循環について社会に広く浸透させる活動などを行うことにより、私たちをとりまく社会や自然環境に貢献することを目指します。



ESG マテリアリティ

2) コーポレート・ベンチャー・キャピタルの活動継続・拡大による新規事業創出

OLC グループの新規事業創出を主な目的としてベンチャー企業等への出資を行っているオリエンタルランド・イノベーションズの投資資金枠を設立当初の 30 億円から 130 億円へ拡大し、事業創出を目指すための活動をさらに加速させます。

OLC グループの特徴である「リアルでのオペレーション」が活きる領域を切り口とし、ベンチャー出向などの人材交流による事業伴走を通じて、新たな価値を生み出してまいります。併せて、環境対応や省人化といった既存事業の課題解決への貢献も目指します。

3. 人事方針

継続的に新たな価値を創出する組織づくりを目指し、人材の育成と確保のための取り組みに注力します。具体的には、事業運営を支える人材力の強化や職種ごとの人事制度の設計などによって人材の成長基盤を確立するとともに、組織力を高める取り組みや、今まで以上に安心して働くことができる環境や制度の確立に向けた改善を進めます。また、これらの人的資本への投資を通じて、仕事のやりがいを高め、働きやすさを向上させることによって、働きがいの最大化にもつなげます。

4. 財務方針

事業活動を通じて創出されたキャッシュを成長投資に優先的に配分するという従来の方針を維持しつつ、規律ある財務レバレッジの活用や株主還元強化に加え、キャッシュ・アロケーションを踏まえた自己株式の取得や更なる成長投資などを機動的に行い、企業価値向上に向けた最適資本構成を追求します。これらにより、ROEは2024中期経営計画期間より更に上の水準を目指します。

以 上